

保護者様

## 令和7年度学校評価について（報告）

船橋市立豊富小学校  
校長 山岸 恒孝

早春の候、保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施いたしました学校評価につきまして、集計が終わりましたので、御報告いたします。皆様からいただきました御意見等につきましては全て、全職員にて確認いたしました。内容について共通理解をしながら、次年度の教育活動に生かせる点については、可能な限り反映していきたいと思っております。また、一部の御意見にのみお答えすることも失礼に当たりますので、本報告書における個々の御意見に対する御返答はいたしかねます。併せて御理解をお願いいたします。

アンケートでは、過分なる励ましのお言葉も多く、職員一同感謝の気持ちを持ちながら、これからの業務に一層邁進していく思いであります。御協力ありがとうございました。

## 1 学校外部評価（学校運営協議会委員による学校評価）

※実施は保護者アンケートの結果を受けて実施していただきました。

（1）集計結果 ※評価の数値は%。百分率については、データ数が少ないため、小数点以下を四捨五入や切り捨てをしています。

	No.	評価内容	4	3	2	1
学校 経営	1	本校は学校の実態に即した教育活動を設定している。	85.7	14.3	0	0
	2	本校は教育目標を学校内外に示し、適切に教育活動を行っている。	85.7	14.3	0	0
教育 活動	3	本校は児童一人一人を生かした授業実践や少人数授業を行い学力向上に努めている。	57.1	42.9	0	0
	4	本校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。 (学校行事・児童会行事・地域交流・異学年交流・宿泊学習 等)	85.7	14.3	0	0
	5	本校はいじめ防止対策に取り組んでいる。	28.5	71.5	0	0
	6	本校は相談活動などを通して一人一人を大切にされた指導をしている。	57.1	42.9	0	0
	7	本校は安全教育や健康教育、食育について指導している。	57.1	42.9	0	0
開か れた 学校	8	本校のPTA活動は活発に行われ、学校との情報交換ができています。	71.4	28.6	0	0
	9	本校は教育活動についての情報を地域等に提供している。	57.1	42.9	0	0
	10	本校は地域人材の活用や関係機関と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	71.4	28.6	0	0
その 他	11	本年度の学校評価は適切に行われている。	85.7	14.3	0	0
	12(1)	本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている 「進んで学ぶ子ども」(知的側面)	57.1	42.9	0	0
	(2)	本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている 「心豊かな子ども」(徳育的側面)	71.4	28.6	0	0
	(3)	本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている 「じょうぶな子ども」(体育的側面)	57.1	42.9	0	0

「保護者による学校評価の内容等についての記述」

- ・楽しく学校生活を送っているが高いのは、とても良いことであると思う。
- ・学習、運動、挨拶等を進んで実施する「子どもの自主性」への評価が低い
- ・保護者の方々の関心の高さを感じます。ともに学校をよくするパートナーとして協力していただきたいと思います。
- ・「お子様、学校の行事にすすんで参加している」が、他を圧倒して評価が良い事は、子供たちが学校に行くことを楽しみにしていると感じました。
- ・PTA活動として学校との協議を密にし準備、実行等を行えた結果だと思っております。昨年度からの比較ができれば今年度のPTA活動の反省がしやすいと思いました。
- ・子供の成長や学校活動を良くみていただいている家庭が多いと思った。いただいたご意見とともに調整をして豊富ならでは活動に行かしたい。
- ・いろいろな意見がありますが、対応できる範囲で対処できればと思います。

「学校職員による学校評価の内容等についての記述」

- ・朝学習の持ち方は検討して行ってほしい。
- ・授業以外の活動（朝学習、奉仕的活動、健康教育）がいずれも低い
- ・小規模校のご苦労があるかと思いますが、児童の成長を思う姿勢に敬服します。
- ・「縦割り班活動を通して、異学年との交流を積極的に図った」点については、高く評価できます。
- ・「1-8」、「4-2」、「4-3」、「4-7」、「4-8」に関しましてはPTAとして今後とも活発な意見交換、協力を密にしていくことが児童の健全な成長に必要だと思います。また、記述のところでは「1」で教職員の皆様の考え、思いが垣間見え大変嬉しく思うと同時に、今後とも児童のため創意工夫をよろしく願いいたします。「2」では時流であるSNS等の問題点が多々ありますが、児童たちの道徳性を豊かにしていただきますよう、一保護者としてもお願い申し上げます。「4」は児童数減少に伴い「学校⇄保護者」の関係を今後「学校」「保護者」「地域」の三角を更に強固に構築したいと考えております。
- ・各担当で工夫や改善をしていただいていると感じました。できれば長く勤務していただき、豊富ならではの成長の手助けをしていただきたい。
- ・健康教育がもうすこし上がると良いと思います。

その他自由記述欄

- ・少人数の利点を活かした教育活動をさらに伸ばすとよいと思います
- ・今後とも交流等、よろしく願いいたします。
- ・保護者の評価では、A+Bの評価が全体的に高く、保護者が学校に対して高く評価していると感じました。
- ・今年度も残りわずかとなりますが、引き続きよろしく願いいたします。
- ・少数校、地域性ならではの不安が家庭からはあると感じたが、改善に学校は動いていただいていると思う。教員数やサポート体制を引き続きお願いしたい。
- ・良い取り組みを継続してほしいと思います。

## (2) 考察

集計結果からは、概ね肯定的な評価をいただいたことがうかがえる。

「よくあてはまる。」の高い評価を多くいただいていた、No.2「本校は教育目標を学校内外に示し、適切に教育活動を行っている。」、No.4「本校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。(学校行事・児童会行事・地域交流・異学年交流・宿泊学習 等)」に関しては、中学校の行事参加、縦割り班活動、地域の方々のご協力による米作り体験、さつまいも作り体験、エンジン収穫体験、梨園見学・収穫体験などにより、高い評価をいただいたと考える。小中一貫教育の研究の成果を継続し、来年度も工夫をしながら行事等を計画し、より良く取り組んでいきたい。

例年力を入れているが、No.5「本校はいじめ防止対策に取り組んでいる。」、No12.(2)

「心豊かな子ども」(徳育的側面)」に関しては、道徳教育を含め、目前の課題解決的な指導だけでなく、成長を促す指導、心の成長を促す教育活動を一層充実させていきたい。また、今年度実施した全校道徳の取組のように、児童が主体的になって、人権尊重について考える取組を充実させていきたい。教育相談日やスクールカウンセラーを活用しやすいように周知を続けるとともに、教職員で、共通理解し、注意深く、継続的に行い、安全で安心な学校をつくっていく。

## 2 保護者による学校評価

(1) 集計結果 ※百分率については、小数第2位を四捨五入した数値です。

1. 本校の取組についてお答えください。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年 比
①	学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	35.2%	61.5%	2.2%	1.1%	96.7%	93.5%	3.2%
②	学校は、どの子にも分かりやすい学習指導を行っている。	33.0%	64.8%	2.2%	0.0%	97.8%	93.5%	4.3%
③	学校は、豊かな心を育てる活動を行っている。 ※道徳の学習・行事・縦割り班活動 等	60.4%	38.5%	0.0%	1.1%	98.9%	95.3%	3.6%
④	学校は、いじめ防止対策に積極的に取り組んでいる。	28.6%	63.7%	7.7%	0.0%	92.3%	85.0%	7.3%
⑤	学校は、健康増進や体力向上に取り組んでいる。 ※体育学習・行事・歯磨き指導・食育 等	48.4%	50.5%	1.1%	0.0%	98.9%	98.1%	0.8%
⑥	学校は、安全教育や防災教育に取り組んでいる。 ※登下校指導・避難訓練 等	38.5%	56.0%	5.5%	0.0%	94.5%	91.6%	2.9%
⑦	教職員は、子供をよく理解し、適切に対応している。	46.2%	49.5%	3.3%	1.1%	95.6%	89.7%	5.9%
⑧	学校には、子供や保護者の悩みや困ったことを相談しやすい。 ※スクールカウンセラー利用を含む	42.9%	50.5%	4.4%	2.2%	93.4%	84.1%	9.3%
⑨	学校は、出来事や子供達の様子を保護者に伝えている。 ※学校便り・学年便り・冊 等	54.9%	44.0%	1.1%	0.0%	98.9%	92.5%	6.4%

⑩	学校は、学校（学年）行事に保護者が参加しやすいように工夫している。	44.0%	52.7%	3.3%	0.0%	96.7%	94.4%	2.3%
⑪	学校は、地域・保護者における子供の見守り活動が充実している。	28.6%	59.3%	11.0%	0.0%	87.9%	88.8%	-0.9%

2. お子様についてお答え下さい。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年 比
①	お子様は、楽しく学校生活を送っている。	57.1%	38.5%	4.4%	0.0%	95.6%	88.8%	6.8%
②	お子様は、学校の行事に進んで参加している。	67.0%	28.6%	4.4%	0.0%	95.6%	91.6%	4.0%
③	お子様は、進んで学習に取り組んでいる。	38.5%	42.9%	18.7%	0.0%	81.3%	76.6%	4.7%
④	お子様は、思いやりの心が育っている。	46.2%	48.4%	5.5%	0.0%	94.5%	92.5%	2.0%
⑤	お子様には、何でも話せる友達がいる。	42.9%	46.2%	9.9%	1.1%	89.0%	80.4%	8.6%
⑥	お子様は、進んで運動し、体力が高まっている。	41.8%	36.3%	20.9%	1.1%	78.0%	72.9%	5.1%
⑦	お子様は、「英語」の授業に意欲的に参加している。	50.5%	39.6%	9.9%	0.0%	90.1%	87.9%	2.3%

3. 御家庭での様子についてお答えください。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年 比
①	お子様は、基本的な生活習慣が身に付いている。	20.9%	54.9%	23.1%	1.1%	75.8%	76.6%	-0.8%
②	お子様は、進んで挨拶をする習慣が身に付いている。	26.4%	51.6%	20.9%	1.1%	78.0%	78.5%	-0.5%
③	保護者様は、お子様が家庭での約束を守るように声掛けをしている。	42.9%	53.8%	3.3%	0.0%	96.7%	98.1%	-1.4%
④	保護者様は、お子様の良いところを見付け、ほめている。	34.1%	64.8%	1.1%	0.0%	98.9%	92.5%	6.4%
⑤	保護者様は、お子様の歯磨き指導や虫歯治療を行い、積極的な口腔衛生に心掛けている。	37.4%	57.1%	5.5%	0.0%	94.5%	87.9%	6.7%

(2) 考察

今年度の学校評価において最終回答率が75%となり、多くの回答をいただくことができた。市内の学校評価と比べても高い水準であり、各御家庭の教育に対する高い意識と学校への協力的な姿勢の表れであると考え。また、23項目中17項目において90%以

上の肯定的な回答であり、95%を超える肯定的な回答は11項目となっている。加えて昨年度と今年度において数値の上昇が見られた回答が23項目中19項目にのぼったことから、多くの保護者に今年度の学校運営方針が受け入れられていると考えられる。

「1」の本校の取組については、肯定的な評価（90%以上）が11項目中10項目となっており、本校の教育活動に対し高い理解を得ていることが伺える。

- ・1-1から1-10においてはいずれも90%以上となっており、保護者の皆様や地域の方々に温かいご協力をいただいていることや、教職員で情報共有を密に取り組んできた成果であると思われる。今後も小規模校の強みを生かし、校外学習の充実や他学年と触れ合う機会の工夫などに取り組んでいく。また、学習面においても少人数指導を実施したり、教科専科を取り入れたりするなど、「わかる授業」を目指し実践を行っていく。GIGAスクールにおいてはどの学年でもICTに取り組んでおり、ICT支援員を活用しながらタブレットをはじめとするICT機器の活用を今後も続けていく。また、児童支援面でも県スクールカウンセラーの隔週配置や市スクールカウンセラーの毎週配置、スクールアシスタントの常駐が肯定的な意見へと結びついていると考える。
- ・1-11に関しては90%を下回っており、子供たちの見守り活動に関して検討する必要がある。本校の学区の広さや交通量の多さ、歩道の整備等から不安を感じている保護者がいると考えられる。昨年度よりPTAとも協議を行い、年度途中から全保護者にスクールガードとなっただき、多くの目で子どもたちを見守る体制を構築した。また、PTA活動としても長期休業明けの登校時の見守り活動を計画している。今後もPTAと協議しながら、子供たちの安全な登下校を担保していきたいと考えている。

「2」の子供の様子に関する項目では、昨年度よりもすべての項目で上昇が見られるが、2-3、2-5、2-6において90%を下回っている。

- ・2-3の「進んで学習に取り組む」では昨年度より5%の上昇は見られるものの90%を下回っている。子供たちが学習に対して「わかる・できる」喜びを感じられる必要があり、基礎的・基本的な学力を身につけるための学力向上の手立てをとる必要がある。また、全学年での未習熟の内容を身につける手立てを家庭と連携しながら粘り強く講じていく。
- ・2-5「お子様には、何でも話せる友達がいる」では昨年度より9%の上昇は見られるものの90%を下回っている。引き続き生徒指導において友だちとの関わり方などを指導する必要があると考える。
- ・2-6「進んで運動し、体力が高まっている」項目でも昨年度より5%の上昇はあるが80%を下回っており、運動の日常化や正課時体育の中での運動量の確保が必要である。体育館の空調設備も導入され、子供たちに運動の楽しさを味わわせるとともに、行間休みや昼休みの外遊びを励行する。

「3」の家庭での様子に関しては、3-1、3-2において80%を下回っている。この2観点については、学校から家庭、家庭から学校への相互の情報共有を行い、学校からと家庭からの双方の教育を粘り強く取り組んでいく必要がある。一方、3-3、3-4では95%を3-5では90%を上回るなど、家庭の意識が高まっていることがうかがえる。引き続き、学校と家庭が協力し合い子供たちの自己肯定感や自己有用感を育んでいきたい。